

PD Dr. rer. nat. Dr. med. habil. Friedrich von Rheinbaben

Virologie, Mikrobiologie, Hygiene

Friedrich von Rheinbaben · Garather Weg 21 · 40589 Monheim
am Rhein

宛先
Meiko Maschinenbau GmbH & Co. KG
Englerstr. 3
D-77652 Offenburg

Garather Weg 21
40589 Monheim am Rhein

Tel.: +49 (0)171 6767 009
E-Mail: f.v.rheinbaben@t-online.de

モンハイム (ドイツ)、2020 年 9 月 28 日

鑑定書

MEIKO社ベッドパン洗浄機 TOPIC

における排泄物用ベッドパンの処理プロセスの、コロナウィルス、
特に新型コロナウイルス (COVID-19) に対する効果

コロナウィルスは、エンベロープウィルスの一種です。多くの場合、人間の体では、コロナウィルスは呼吸器・腸において軽い感染症を引き起こします。この点、今回新しく発生したウィルスは、これが命に係わる呼吸器感染につながる可能性がある点で、例外的な存在となっています。このため、危険度はインフルエンザ A ウィルスが原因である従来 of 流行性感冒と同じです。

しかしながら、エンベロープウィルスであるこの新しい病原体は、殺菌剤や殺菌プロセスに対して他のエンベロープウィルスよりも耐性があるというわけではありません。他のタイプのコロナウィルスと同様、熱に対する耐性なども特に高いわけではありません。むしろ反対に、コロナウィルスはすでに 60°C~70°C の温度にも耐えることはできないと思って良いでしょう。

エンベロープウィルスに対してはアルカリ性洗剤が非常に効果的であることは、多くの研究結果によって証明されています。これは、特に脂肪を多く含むアルカリ性洗剤や、温度範囲 50°C以上の高温洗浄液で特に顕著です。

MEIKO TOPIC 洗浄・消毒機器は、ベッドパンの処理を行うものです。この機器は、ショートプログラム、スタンダードプログラム、インテンシブプログラムなど様々な処理プログラムを備えています。

ショートプログラム (尿器用) では、冷水処理、続いて温水洗浄のプロセスが行われます。この際、作業時の水温は 45°C です (現場での温水の供給状態によって異なります)。

温水洗浄の際には、温水のみを使うか、またはアルカリ性洗浄剤 (例 : Doyen R100、弱アルカリ性) を追加で投入するかを選ぶことができます。

洗浄の後は、93° C 以上の蒸気を用いた消毒ステップが続きます。この際、洗浄対象物へのエネルギー伝達としては、A0値 60 以上を選択できます。

プロセスにおいては、さらにリンス剤 / 軟水剤 (Doyen SK22E / Doyen SK 33 E) を使用する必要があります。これは、機械内にカルキの残渣が蓄積することを防ぐだけでなく、洗浄対象物に硬水による膜がたまることも予防します。また、このリンス剤 / 軟水剤は、その解離特性により、ウィルスを不安定化させる効果もあります。

対して、ショートプログラムの代わりにスタンダードプログラム (ベッドパン用など) またはインテンシブプログラム (汚れがひどいベッドパン用など) を選択すると、冷水および洗浄サイクルの回数が増やされます。これにより洗浄メカニズムの強化が図られ、基本的な汚れがひどい場合でも必要な結果を得られます。温水による洗浄サイクルにて洗剤を追加投入するオプションは、ここでもそのまま使えます。また、消毒サイクルにおけるエネルギー量 (A0) の様々な選択オプションも維持されます。A0値の設定は製造元で行われますが、顧客の希望によっては推奨値 A0 600 よりも高く、または低くすることができます。このため、必要があれば製造元にお問い合わせください。

新型コロナウイルス (COVID-19) で汚染された被洗浄物 (ベッドパン) の処理は、コロナウィルスの既知の特性や処理プロセスの種類を鑑み、MEIKO 社の洗浄・消毒機器 TOPIC では次のプログラムシーケンスを選択してください:

ショートプログラム、スタンダードプログラム、インテンシブプログラムのような規定のプログラムを使用しますが、以下のプログラムパラメーターを厳格に順守してください:

温水洗浄サイクルにおいて追加のアルカリ性洗剤を投入
リンス剤 / 軟水剤の必須投与量
消毒プロセスにおける A0値を600 以上に設定



PD Dr. rer. nat. Dr. med. habil. Friedrich von Rheinbaben
(Virologie, Mikrobiologie, Hygiene)